

3年生 カリキュラム

実習

歯科衛生士としての即戦力となる 高度な技術を習得します。

臨床実習を中心に学習し、これからの高齢社会にも対応できるよう介護・福祉分野についても学習します。
国家試験合格に向けて、国家試験対策もいよいよ本格化。模擬試験や個別指導を通して弱点を克服し、「国家試験合格」を目指します。

3年生専門分野

高度な知識の完成を目指します。

歯科診療は様々な専門知識を複合させて行われます。歯牙、口腔、顎顔面、頭頸部、全身の状態を総合的に判断する力をつけていきます。また、同じ疾患でも乳幼児と老人では対処が違います。一つの疾患だけでなく、数種の疾患から症状が生じていることもあります。歯科衛生士として臨床に望むには、総合的な専門知識を必要とされ、これらに応用する力をつけていきます。こうして臨地実習に進んでいきます。臨地実習には下記のものがあります。これらの専門知識を基に臨床経験を重ねることによって有能な歯科衛生士を目指します。



幼稚園実習

臨地実習先

一般歯科医院・矯正歯科医院での臨地実習 幼稚園実習
障がい者施設実習 口腔保健センター実習 小学校実習 高齢者施設実習
広島大学病院・岡山大学病院・徳島大学・福山市民病院実習

口腔の健康を健康寿命へと つなげる歯科医療



広島大学病院
主席副院長
柿本 直也

広島大学病院は中国・四国地方を代表する病院で、全国でも有数の医科歯科連携が進んでいる病院です。大学病院には様々な専門診療科が存在し、高度専門医療を提供しています。歯科においても13の専門診療科が存在します。また、大学病院は教育研修機関でもあり、未来に輝く歯科医療人を養成しています。

超高齢化社会を形成している日本において、口腔を守ることは健康寿命につながります。その役割を担うのが歯科衛生士です。口腔は全身の入り口です。歯科衛生士は、口腔の健康、機能を維持することで世の中に貢献できる国家資格です。広島大学病院での臨床実習を通じて、様々なことを経験して頂き、輝かしい未来へとつなげて頂ければ幸いです。

3年生臨地実習

臨地実習は実習医院、口腔保健センター、大学病院などで行います。

障がい者施設実習

障がい者の診療には、それぞれの人の持つ障害に対し知識と配慮を必要とされます。歯科衛生士は障害を抱える人が安心して治療を受けられるために非常に大きな役割を担います。本校では、併設の口腔保健センターでの診療を通しての実習と障がい者施設での口腔衛生への取り組みとブラッシング実習を通して豊かな配慮のできるボランティア精神を育みます。



障がい者施設実習



広島大学病院臨地実習



徳島大学病院 臨地実習

